

令和 7 年 4 月 1 日

泉北環境整備施設組合
管理者 辻 宏康 様

泉北環境整備施設組合汚泥再生処理センター整備工事
事業者選定委員会 委員長 石川 宗孝

泉北環境整備施設組合汚泥再生処理センター整備工事
事業者選定（公募型プロポーザル）の審査結果について

標記の件について、優先交渉権者を決定しましたので、審査委員会の審査結果及び講評を報告します。

1. 審査結果

優先交渉権者 : 水 i n g エンジニアリング株式会社 西日本支店

<評価結果>

審査項目	配点（満点）	優先交渉権者
工事の適正な遂行及び工事中の既存施設への配慮に対する技術提案	10	7.67
施設計画に関する技術提案	10	7.67
資源化に関する技術提案	10	7.67
緊急時対応や施設の耐久性に関する技術提案	10	7.67
施設の環境対策等に対する技術提案	10	7.00
維持管理費削減に関する技術提案	5	3.83
アフターサービス、地域貢献等に関する提案	7	4.20
資源化設備として助燃剤化設備の施工実績	3	3.00
資源化設備としてリン回収設備又は堆肥化設備の施工実績	3	3.00
配置予定主任技術者の同種工事の施工実績	2	0.00*
価格評価	30	24.10
合計	100	75.81

※汚泥再生処理センターリニューアル工事の実績は有していないが、し尿処理施設の改造工事実績を有している。

2. 講 評

本工事は、泉北環境整備施設組合が継続してし尿及び浄化槽汚泥を安定的に処理するために、以下の3つの基本方針を掲げて汚泥再生処理センターにリニューアル（改造・改修）する工事である。

- ① 処理水の放流先を公共用水域から下水道へ切り替える
- ② 処理規模を搬入量の減少に適応させ、コンパクト化する
- ③ 建物の耐震対策・老朽化対策を含めた既存建屋の利用

また、施設整備にあたっては、資源化方式に汚泥の助燃剤化及びリン回収又は堆肥化によるマテリアルリサイクル技術を採用することで、循環型社会の形成に取り組み、二酸化炭素排出量の削減にも寄与するものである。

本工事では、公募型プロポーザル方式によりリニューアル工事事業者の募集を行い、1社から応募があり、実施要領に基づき審査した結果、プロポーザルに参加した「水 ing エンジニアリング(株) 西日本支店」を優先交渉権者として選定した。

「水 ing エンジニアリング(株) 西日本支店」の提案は、本工事の特性や課題を的確に捉えたうえで、企業の過去の実績をベースにした創意工夫がなされたものであり、敬意と感謝の念を表すものであった。

提案内容は、組合が期待する既存施設を活用してマテリアルリサイクル技術を導入するリニューアル工事計画が実現されたものであり、特にマテリアルリサイクル技術として実績のあるリン回収設備が採用されていること、施設の役割及び条件を踏まえた災害対策が検討されていることを高く評価した。

環境対策の観点では、し尿等の処理を行う施設として懸念される臭気への対策や下水道放流についての提案もあり評価できるものであった。

また、省エネを考慮した機器選定及び設備費の低減を図る比較検討が行われており、経済性にも考慮された内容であった。

企業の技術力としては、資源化設備の施工実績を十分に有しており、本工事と同等工事の経験を有する技術者が配置されることから、問題なく工事を遂行できると評価した。

プレゼンテーションでは、限られた時間にもかかわらず、提案内容が要約され分かりやすいものであった。また、ヒアリングにおける的確な回答は、工事が綿密に計画されていることやこれまでの経験が感じられるものであり、組合の要求に応えた工事の実施が期待できるものであった。

今回、優先交渉権者となった、「水 ing エンジニアリング(株) 西日本支店」においては、組合と協働のもと、循環型社会に貢献する汚泥再生処理センター稼働に向けて、提案内容に沿った質の高い事業の遂行を強く期待する。

以上